

## 平成 21 年度市町村民所得推計の概要

### 1. 市町村内総生産

(県内の状況)

平成 21 年度の市町村内総生産の総額（市町村計）は 5 兆 3, 7 2 0 億で、前年度に比べ▲ 3. 1 %と 2 年連続の減少となった。

市町村別では、総生産額が増加したのは 1 4 市町村で、減少したのは 3 1 市町村であった。

産業別では、製造業、建設業をはじめ多くの産業が減少した。

増加率の大きい市町村は、南小国町（+9.0%）、南関町（+7.0%）、菊陽町（+6.1%）などであった。

一方、減少率の大きい市町村は、和水町（▲19.1%）、大津町（▲19.1%）、西原町（▲18.6%）などであった。

(天草市の状況)

平成 21 年度の市町村内総生産の総額は、2, 1 8 2 億 6, 5 1 9 万円で、前年度に比べ 4.4%の減少となった。

各産業において、減少率の大きいのは水産業で、30.4%の減少となっており主な要因として、赤潮発生の影響により浅海養殖業生産額が減少したものと考えられる。

また、県内市町村総額に占める本市の総生産額は、4.1%となり、前年度と同率になった。なお、市町村別では、熊本市が 2 兆 2, 3 5 5 億円で 41.6%を占めトップで、次に八代市が 3, 5 9 1 億円で 6.7%となっており、次いで天草市の順であった。

### 2. 市町村民所得

(県内の状況)

平成 21 年度の市町村民所得の総額（市町村計）は 3 兆 9, 6 0 2 億円で、前年度に比べ▲3.7%と 2 年連続の減少となった。

項目別にみると、雇用者報酬、財産所得、企業所得のすべての項目で減少した。また、市町村民所得を市町村総人口で割った一人当たり市町村民所得は、菊陽町が 2 7 7 万 1 千円と最も大きく、次いで大津町 2 6 9 万 2 千円、嘉島町 2 5 7 万 9 千円の順であった。

(天草市の状況)

本市の平成21年度市町村民所得の総額は、1,538億1,488万円で、前年度に比べ1.9%の減少となった。

項目別にみると、雇用者報酬が1.7%の減少、財産所得が5.1%の増加、企業所得が3.8%の減少となった。

また、一人当たり市町村民所得は、170万7千円となり前年より▲0.3%減少した。なお、県内市町村平均額218万1千円となっており、47万4千円低い額となっており、順位別で見れば47市町村中30位、14市中では14位となっている。

※ 一人当たりの市町村民所得は、市町村民所得を総人口で除したもので、市町村経済の水準を表す指標です。

この市町村民所得には、家計（個人）が受け取る所得だけではなく、民間法人企業等の所得も含まれ、また、総人口には、生産に従事していない失業者、高齢者、子供も含まれます。

よって、一人当たり市町村民所得は、  
個人一人当たりの年収額に相当するものではありません。

- ・市町村民所得＝「雇用者報酬」＋「財産所得」＋「企業所得」
- ・市町村の総人口：県推計人口の値（直近の国勢調査値から県が推計）